

「1時間半で地球1周」 大 樹 宇宙飛行士の土井さん講演



【大樹】宇宙飛行士土井隆雄さん(51)の講演会「めざせ宇宙飛行士!」

宇宙の魅力に語る土井さん

北の大地から「町主催」が10月31日、大樹高校(安田謙一校長、生徒158人)で開かれた。土井さんは「宇宙のまち」大樹の高校生や町民ら約200人に、宇宙の魅力や体験談、夢を持ち続ける大切さなどを語った。

土井さんは1997年、スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、日本人初の船外活動

を行った。現在も米航空宇宙局(NASA)で訓練を続けている。町を訪れた日本人宇宙飛行士は毛利備さん、若田光一さんに続き3人目。土井さんは「少年時代から宇宙飛行士にあこがれていた」と話し、スライドでスペースシャトルから見た地球や16日間の宇宙飛行の様子を解説。船内の食事、睡眠なども紹介し、「シャトルは

秒速8マ。1時間半で地球を1周します」と述べ

ると、聴講者は驚いた様子だった。「真っ暗な宇宙に浮かぶ宇宙船地球号は本当に素晴らしい。自然を守らなければという思いが深まった」と土井さん。

「21世紀は宇宙時代。皆さん、宇宙を目指せ」と力強く締めくくり、生徒会長の神山さゆりさん(2年)が「とても勉強になりました」と花束を手渡した。

1日午前には、町多目的航空園(町美成)を見学。47分の広大な敷地や音長1kmの滑走路などを興味深く眺めていた。(松村智裕)